

該当するものを■に修正してください。
(様式3-2)

揭示文書

下記の研究を行います。

この研究では「後向き観察研究」を行います。通常の診療で得られたカルテ・画像・検査・病理所見等の記録を用いて評価します。このような研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規程により研究内容の情報を公開することが必要とされています。また、当院の倫理審査委員会において承認されています。

研究課題名	陰茎癌 6 症例を通した鼠径部リンパ節生検の妥当性について
研究の主催機関	国立病院機構仙台医療センター
研究責任者	中川 拓也
研究目的	陰茎癌におけるリンパ節生検の有用性について
研究期間	2016 年 4 月から 2023 年 3 月までの 8 年間
研究方法概略	電子カルテを参照し陰茎癌症例のうち臨床上リンパ節転移のない症例 (cN0) に対して、浅鼠経リンパ節郭清を行い、転移所見がなければ追加のリンパ節生検を施行せず経過を見た。EAU ガイドラインの cN0 のリスク分類と照らし合わせた。陰茎癌症例 11 例のうち 6 例が対象となった。
個人情報	利用する情報から名前、住所など患者さんを特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、個人を特定できる情報は利用しません。
本研究の資金源	■なし、□あり()
利益相反	■なし、□あり
問い合わせ先	国立病院機構仙台医療センター (泌尿器) 科 職名(医師) 研究責任者氏名(中川 拓也) 連絡先 tel. 022-293-1111